

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~7日	3月 ~14日	3月 ~21日	3月 ~28日	4月 ~4日	4月 ~11日	4月 ~18日	4月 ~25日	5月 ~2日	5月 ~9日	5月 ~16日	5月 ~23日	5月 ~30日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	29	29	38	41	42	21	21	30	22	26	43	43	35
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	8	10	19	15	15	4	17	25	16	9	12	5	11
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	2	0	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	6	9	11	7	8	3	5	3	3	8	9	10 (11)	8
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	2	6	4	3	5	5	6	9	9	8	5	2	7
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	1	2	0	2	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	1	3	1	1	4	3	3	1	3	3	2	3	2

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第21週(5月24日~5月30日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			1	2	1		1
三類	0	発生なし	0							
四類	8	E型肝炎	1					1		
		重症熱性血小板減少症候群	1			1				
		つつが虫病	1				1			
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	5					3		2
五類	3	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	2					2		
新型コロナウイルス 等感染症	820	新型コロナウイルス感染症	820	79	47	35	4	593	23	39

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第21週に、593件の報告がありました。新規感染者数は減少傾向となっておりますが、対策を緩められる状況に至っていないことから、緊急事態宣言が6月20日まで延長されました。引き続き、外出の半減、他地域への往来自粛、同居家族以外との食事の自粛など感染防止対策を徹底しましょう。また、喉の痛みなど軽い症状でも医療機関を受診しましょう。

2 RSウイルス感染症

定点当たり0.92人の報告があり、例年同時期と比べて多くなっています。RSウイルス感染症の症状は、軽いかぜのような症状から肺炎などの重篤な症状までさまざまです。特に、生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、感染を避けるための注意が必要です。手洗いや咳エチケットの励行、おもちゃや手すりなどはアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒するなど感染予防対策を心がけましょう。



【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

■定点把握感染症報告状況(通報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減		
												急増減	増減	微増減
フィン	インフルエンザ	-	-	0.09		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.30		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.65		眼科	RSウイルス感染症	22	0.92	0.19	⇒	増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	0.71	2.75	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	156	6.50	5.88	⇒	流行性角結膜炎	1	0.13	0.64		横ばい	↔	ほとんど増減なし	
	水痘	6	0.25	0.51		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。		
	手足口病	-	-	1.53			無菌性髄膜炎	-	-	-		インフルエンザ定点数(小児科定点を含む) 37		
	伝染性紅斑	1	0.04	0.27			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06		小児科定点数 24		
	突発性発しん	8	0.33	0.49			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数 8		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.55			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.20		基幹定点数 7		
											(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)			

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	44	70歳代
4	E型肝炎	1	4	60歳代
4	レジオネラ症	3	13	40歳代、60歳代、70歳代
5	梅毒	2	24	50歳代、90歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	5	70歳代